

## 令和8年3月定例会一般質問 要約版

---

質問者 北原 輝隆 議員

南海トラフ巨大地震における庁舎機能と停電対策について問う

### 1 【本庁舎の非常用発電設備について】

#### 質問1

議員：大規模災害発生時の燃料備蓄量の確保は？

財政課長： 軽油 950L で約 22 時間稼働。7 日分備蓄は無理。定期確認で保有率維持。

#### 質問2

議員：燃料優先供給協定は実効性のあるものか？

総務課長： 町は地元石油商組合と優先供給協定を締結、迅速供給体制を整備。

#### 質問3

議員：優先回路を明確に分けているか。また、負荷計算は実施済みなのか？

財政課長：優先回路をエリア別に設定、負荷計算は設置時のみで随時見直し未実施。

### 2 【自動起動と二重化の確実性について】

#### 質問4

議員：自動切替え装置は整備されているのか。また、定期的な実負荷試験の実施は？

財政課長：非常用発電機は自動起動。実負荷試験は年1回、通常秋に実施。

#### 質問5

議員：バックアップ電源の整備は？

財政課長：バックアップ電源は未整備。発電機は月次点検で不具合は随時対応。

質問6

議員：発電機の複数台数設置は？また、分散設置や複数台体制の検討は？

財政課長：非常用発電機は1台のみ。複数導入はコストと想定規模で検討予定。

3【停電長期化への備えについて】

質問7

議員：庁舎等への停電に伴う断水への対策は？

財政課長：福祉センターは非常電源でポンプ稼働。本庁舎は未接続で改善が必要。

質問8

議員：簡易トイレの備蓄等、職員の執務環境整備は？

総務課長：簡易トイレや飲料水、非常食を備蓄。交代制で職員負担軽減に努力。

質問9

議員：防災行政無線の非常電源稼働時間は？

総務課長：防災行政無線は72時間、衛星電話は22時間想定。電源延長は可能。

質問10

議員：庁舎機能の維持や非常用電源の確保等についての、町長の考えは？

町長：非常電源強化や蓄電池、再エネ、ICT分散化で強靱化を検討。

南海トラフ巨大地震発生時における教育委員会の対応について問う

1【初動対応体制について】

質問1

議員：巨大地震発生直後、教育委員会の参集体制及び指揮命令系統は？

教育長：町の非常配備で職員が登庁、町長指揮下で教育課が情報収集し支援実施。

#### 質問2

議員：夜間や休日、長期休業中に発災した場合の連絡体制は？

教育長：夜間休日は非常配備でメール通報、SNS（Teams・LINE等）で情報共有。

#### 質問3

議員：町の災害対策本部との情報共有等は？

教育長：被災状況を収集し災害対策本部と情報共有。

### 2【児童生徒の安全確保について】

#### 質問4

議員：在校時に巨大地震が発生した場合の避難判断基準は？

教育長：校長判断で運動場へ避難、基準は状況次第で定めず柔軟に対応。

#### 質問5

議員：登下校中に発災した場合の行動指針の児童生徒及び保護者への周知は？

教育長：危機管理マニュアルで避難指導、保護者周知と地域見守り強化に努力。

### 3【保護者への引渡し体制について】

#### 質問6

議員：保護者への連絡手段は？また、通信が途絶した場合の代替措置は？

教育長：一斉配信メール等で連絡。通信途絶時は学校で児童生徒を保護。

#### 質問7

議員：学校における児童生徒の保護体制は？

教育長：保護者不在時は学校で引き続き保護、教職員が引渡し完了まで対応。

#### 4 【学校施設の安全対策について】

##### 質問8

議員：校舎の耐震化率及び非構造部材の落下防止対策の現状は？

教育課長：校舎耐震化率 100%、R8 年度に非構造部材調査実施。後に対策検討。

##### 質問9

議員：安全対策現状は万全なのか。また、再点検の実施状況等は？

教育課長：体育館は耐震化・照明は落下対策済、非構造部材は未調査で今後検討。

#### 5 【避難所機能との両立について】

##### 質問10

議員：学校が避難所となった場合の教育活動再開までの工程は？

教育長：避難所開設は災害対策本部主導、仮設移転後に閉鎖し平常へ移行。

##### 質問11

議員：備蓄品の整備状況や教職員の役割分担、避難所運営との切り分けは？

教育長：備蓄は町で配備、学校独自備蓄を検討。避難所運営は町が担当。